

第30回

藤里町交通安全町民大会

10月29日、総合開発センターにおいて、第30回藤里町交通安全町民大会が開催され、交通安全功労者や交通安全作品コンクール入賞者を表彰するとともに、交通安全運動への取り組みや意識を高め、町民一丸となって事故防止運動を積極的に展開することなどの大会宣言案を採択。事故のない安全で安心な町づくりを誓いました。

本大会は、悲惨で恐ろしい交通事故を町民総ぐるみで防ぎ、安全で住みよい町を目指すとともに、町民一人ひとりの交通安全意識を高めようと、毎年開かれているもので、この日は、藤里町交通指導員をはじめ、各地区の交通安全推進員や関係者など、130名余が参加しました。

初めに、交通事故犠牲者に黙とうを捧げ、続いて石岡町長よりあいさつが述べられたあと、古川教育長から交通安全作品コンクールの審査講評が報告され、入賞者に対して表彰状と記念品が贈られました。その後、作文の部で最優秀賞を受賞した中学生1名、優秀賞を受賞した児童3名が作文の朗読をしました。

そして、最後に町交通安全母の会の篠田睦子さん(朝日ヶ丘団地)、佐々木玲子さん(室位)が大会宣言案を読み上げ、満場の拍手で採択されました。

交通安全作品コンクール

【作文の部】

《最優秀賞》

◇成田真帆さん(藤里中学校1年)

「命の大切さ」

《優秀賞》

◇三谷なごみさん(藤里小学校1年)

「こうつうしどうたいのおじさんおばさんありがとう」

◇山田学飛さん(藤里小学校3年)

「左右をよくたしかめて」

◇佐々木淳貴さん(藤里小学校5年)

「交通安全について思うこと」

《入選》

◇藤田菜央さん(藤里小学校2年)

「おたすけこびと」

◇袴田世慎さん(藤里小学校3年)

「兄の運転中に」

◇加藤萌さん(藤里小学校5年)

「交通安全について」

◇菊地砂月さん(藤里小学校6年)

「わたしの自転車事故体験」

【ポスターの部】

《最優秀賞》

◇伊藤絵梨華さん(藤里小学校6年)

「あなたは守っていますか」

《優秀賞》

◇細田萌季さん(藤里小学校1年)

「とびだし きけん」

◇安部陽菜さん(藤里小学校5年)

「命を守るヘルメット」

◇大森絢子さん(藤里小学校6年)

「あなたはどちらが大切ですか？」

《入選》

◇藤原佳央さん(藤里小学校2年)

「手をあげてわたろう」

◇桂田汐音さん(藤里小学校3年)

「てをあげないと ひかれるよ」

◇市川咲奈さん(藤里小学校4年)

「飲酒運転はダメ」

◇加藤杏奈さん(藤里小学校4年)

「こどもからぜつたい目をはなさないで」

作品紹介

『命の大切さ』



成田真帆さん

私の家族は5人います。以前、交通安全について話し合ったことがあります。まずシートベルトです。

私は助手席に乗ることが多いので、乗ったらシートベルトをするというくせは、ついていると思っていますが、時々忘れることがあります。また、忘れたときほど危険なことが多いので、自分でも意識したいと思いました。

二つ目は、自転車の乗り方とヘルメットの着用です。

自転車は、狭いところでも自由に乘れるとても便利な乗り物です。でも、片手運転や友達と並んで話しながら乗っている人もいます。一列になつて気を付けながら乗ろうと思いました。そして、転ばないようにしたいと思います。

また、ヘルメットは両親からも言われていることです。

一度ヘルメットをかぶらずに自転車に乗っていて、転んでけがをしたことがあります。そのとき通りかかった人に言われたのが、「ヘルメットは頭を守る大切なものだから、しっかりとぶりなさい」という言葉です。

そのときまでは、つけていても、ヘルメットなんて邪魔だし、いらぬものだと思っていました。でも、その言葉を聞いてから、いつもヘルメットをかぶるようにしています。楽しく乗れるように注意しようと思います。

三つ目は歩き方です。

信号が青になつたからといってすぐ渡らずに、左右の確認をしてから渡るようにすることです。これを身につけていけるようにしたいと思います。

以前、藤里中学校で、娘さんを交通事故で亡くしてしまったお母さんの講話を聞きました。